



令和7年4月7日（月）

日立市 市長公室 デジタル推進課

日立市における行政DXの取組について

本市では、昨年度（令和6年度）の全庁を挙げた重点的取組として、行政DX（デジタル技術を活用した事務全般の変革を目指す包括的な取組・行政手続オンライン化）を進めました。

さらに、本年4月には本市初となるDXグランプリを開催し、各課所が取り組む好事例の横展開を図るなど、更なるDXの推進に力を注いでいるところです。

昨年度1年間の実績としては、全ての課所が1件以上のDX化に取り組み、合計で297件の実装を成し遂げ、年間6,000時間を超える作業時間を削減するとともに、行政手続のオンライン化においては602件の実装を図りました。

つきましては、本市が総力を挙げて進めた行政DXの取組について、記事掲載等をお願いしたく、特段の御配慮をお願い申し上げます。

【取組結果の概要】

(1) 行政DX

ア 期間 令和6年度

イ 実績 297件の業務を対象に実装し、6,000時間を超える作業時間を削減

ウ 活用したツール キントーン、RPA、AIOCR、LOGOフォーム

(2) DXグランプリ

ア 概要 上記行政DXの取組の中からグランプリ等を選定

イ 発表会 令和7年4月4日（金）

※ 受賞した課所長・担当者が、副市長・部課所長全員に成果を発表する機会を設け、好事例の横展開を実施

ウ 受賞結果 別紙1のとおり

エ 参考 発表会の様子 別紙2のとおり

(3) 行政手続のオンライン化

ア 実績 602件の行政手続をオンライン化（令和5年度末の10倍）

イ オンライン申請ポータルサイトの開設 令和7年4月1日

ウ サイトイメージ 別紙3のとおり

【問合せ】日立市 市長公室 デジタル推進課（担当 瀧深、真木）

TEL 0294-22-3111（内線 687）

E-mail digital@city.hitachi.lg.jp

行政DX・DXグランプリの受賞結果等

1 行政DXの結果概要

定量的効果（数値化できる効果）

297件のデジタル化を実現し、作業時間を**約6,000時間削減**（年間換算）

定性的効果（数値化できない効果）

正確性の向上

作業ミスの減少

・AI-OCR、RPAで作業の正確性が向上し、**作業ミスも減少**。

市民利便性が向上

窓口対応の減少

・オンライン申請化により、**市民の利便性が向上**するだけでなく、**電話や窓口対応が減る**副次的効果も。

電話問合せの減少

・キントーンによるデータベース化により、職員同士・他課との**情報共有の円滑化**等により、業務が効率化。

情報共有の円滑化

進捗管理の効率化

業務見直しの契機

作業の一部を削減

・各ツールの活用をきっかけとして、事務を見直し、**作業の一部が不要**となるなど、業務改善の一助に。

作業時間の削減や、情報共有の円滑化等の効果により、
生み出した時間を他業務で活用するなど、各課所の生産性向上に寄与

2 受賞結果

(1) グランプリ概要

上記の行政DXに関する取組を対象に**2つの表彰部門**を設けて開催

DXグランプリ賞部門

- 各部1件の部代表を選出
- その中から1～3位を決定
グランプリ
準グランプリ
3位
※4位以下は部長賞として表彰



個別賞部門

- 部代表以外の中から、DX推進に貢献した個別取組を表彰
- 10個の賞を設定
作業時間の削減、情報共有の円滑化等の賞を表彰



応募：**10件**

応募：**52件**

応募総数**62件**

(2) 受賞結果

【 DX グランプリ賞部門 】

グランプリ	消防本部 警防課 災害情報の可視化による情報共有 【キントーン】
	<ul style="list-style-type: none">・指令室のホワイトボードで管理していた<u>災害情報を管理できるアプリ</u>をキントーンで作成。・消防指令システムで処理しきれない災害情報もシステム上で可視化することで、<u>消防本部内だけでなく、災害対策本部や関係課も含めて、情報を閲覧・共有</u>できるようになった。・情報共有や情報管理が容易になるなど、災害時における消防業務を効率化した。
準グランプリ	保健福祉部 子ども施設課 入園申請に係る窓口予約等のオンライン化及び申請書の自動取込 【AI-OCR、LoGo フォーム】
	<ul style="list-style-type: none">・入園申請の時期(10～11月)は、窓口が混雑し、昼食時間も含めて電話対応があるなど業務が集中し、申請書(約600件)のシステム入力には時間外で対応していた。・LoGo フォームにより<u>窓口予約をオンライン化</u>し、窓口の混雑を解消。加えて、今年度には、<u>AI-OCRの活用により入力作業を自動化</u>し、作業時間の削減を見込む(約190時間)。・市民・職員ともに時間的余裕が生まれ、より丁寧な窓口対応が可能となった。
3 位	上下水道部 料金課・水道課 漏水調査アプリによる課の枠を超えた一括管理 【キントーン】
	<ul style="list-style-type: none">・漏水の疑いが発生した際、料金課と水道課が、それぞれ別のエクセルデータで管理していたものを、<u>両課が共同で使用でき、一括管理できるアプリ</u>を作成。・<u>両課が常に最新の情報を共有</u>できるようになったことから、料金課から水道課への漏水調査依頼や、水道課から料金課へのその調査結果報告が不要になるなど、<u>事務を省略化</u>。(約150時間の削減)・市民からの問合せも共有した情報を基に対応できるため、<u>迅速な対応が可能</u>になったほか、集計作業や、キントーンの機能を活用した決裁文書の自動作成など事務を効率化した。

※部長賞・個別賞は、次頁のとおり

【 DX グランプリ賞部門 】 部長賞 ※機構図順

部	課	取 組 名	活用ツール
公室	創	地方創生関連の交付金データベース構築	キントーン
総務	原	放射線量測定結果取りまとめ事務の LoGo フォーム導入による業務負担軽減と効率化	LoGo フォーム
政	産税	償却資産申告事務の LoGo フォームによるオンライン化	LoGo フォーム
生活	資源	AI-OCR の活用による実績入力事務のデジタル化	AI-OCR
都建	都整	公園管理事務のキントーンによる管理システム化	キントーン
産	農委	農地における利用の意向確認作業の効率化	AI-OCR
教	教総	奨学金事務手続き全般における電子化	RPA LoGo フォーム

【 個別賞部門 】

① RPA・AI-OCR 賞	ツールの機能を最大限に活用し、業務の効率化・省力化を実現
	(保険) 人間ドック費用補助事務の効率化 【RPA、AI-OCR、LoGo フォーム】
② LoGo フォーム賞	ツールの機能を最大限に活用し、業務の効率化・省力化を実現
	(健康) 健診予約に LoGo フォームを導入し大幅コストカット 【LoGo フォーム】
③ キントーン賞	ツールの機能を最大限に活用し、業務の効率化・省力化を実現
	(さくら) 桜管理台帳のデジタル化 【キントーン】
④ 作業時間削減賞	作業時間の削減が顕著
	(保険) 納付書チェック作業事務の効率化 【RPA】
⑤ 横展開賞	他課への応用性が高い(横展開しやすい)
	(管) 公共施設マネジメント取組状況の把握 【キントーン】
⑥ 市民利便性向上賞	市民等の利便性向上が顕著
	(生援) 生活保護医療券等発行申請の電子化 【キントーン】
⑦ アイデア賞	新たな視点でツールを活用
	(料) 水道料金自動計算ツールによる問合せの減少 【LoGo フォーム】
⑧ 情報共有円滑化賞	情報共有円滑化による業務改善が顕著
	(下水) 工事管理事務の一元化による効率化 【キントーン】
⑨ 見える化賞	見える化による業務改善が顕著
	(総) 選挙公営ポスター掲示場管理事務の一元化 【キントーン】
⑩ BPR賞	ツール活用により業務を変革
	(住政) ひたちエコみらい住宅助成業務の LoGo フォームによる電子申請化 【LoGo フォーム】

オンライン申請ポータルサイトイメージ

市公式ホームページとLINEから簡単アクセス（令和7年4月1日公開）



602件をオンライン化（事業実施時期に合わせて順次公開）

【参考】昨年9月時点 61件（9月からの半年で公開数**10倍**）

参考 DXグランプリ発表会の様子（4月4日開催）



